

教科	国語	科目	論理国語	単位数	3単位	学年	2年	コース	全コース
使用教科書	大修館書店『新編 論理国語』			使用副教材等	尚文出版『常用漢字 ダブルクリア』				

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、以下の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。②論理的・批判的・創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で自分の考えを深めながら、伝え合う力を高める。③生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ事故を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通じて他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト[60%] ・課題テスト[20%] ・成果物(言語活動等)[20%] 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト[60%] ・成果物(言語活動・調べたり考えたりしたことまとめ等)[40%] 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート[60%] ・自主学ノート等の取り組み(意味調べやテスト勉強等)[40%]

担当者からのメッセージ	この科目は、実社会の中で立場や考えの異なる他者と意見を述べ合ったり、理解をし合ったり、協働したりするために必要となる論理の力を身に付けるための科目です。様々な文章を通して、主題をつかむ読み方や説得力のある文章のまとめ方、情報を選択し活用する方法を学習します。自分とは異なる考え方に触れる楽しさを味わいながら、根気強く取り組みましょう。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「論理的な人」とはどういう人か ・知の登山、知の水路 《フォーカス》「論理」への第一歩 ↓ <u>「論理」とは何かを知り、論理的に学ぶ大切さを理解する。</u>	【知識・技能】 段落の構成や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 論理について理解し、これからの学習で取り組みたいことを深く考え、自分の考えを根気強くまとめようとしている。
	5	《ウォームアップ》具体と抽象の関係 《例題》突然変異と進化の関係 ・ウサギの耳はなぜ長い？ 《フォーカス》具体と抽象を使いこなそう ↓ <u>「具体」と「抽象」の関係を理解し、論理的に読んだり書いたりする力を身に付ける。</u>	【知識・技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化し、整理する方法について理解を深めている。 【思・判・表】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。 「書くこと」において、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「具体」と「抽象」の関係を理解し、より論理的に読んだり書いたりすることができるよう、根気強く考えを深めようとしている。
	6 ・ 7	《ウォームアップ》比べて説明する 《例題》米の種類と食文化 ・対話の精神 ・デジタル地図から見える世界 《フォーカス》対比を使って主張する ↓ <u>「対比」について理解し、効果的に「対比」を用いる力を身に付ける。</u>	【知識・技能】 語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握している。 「書くこと」において、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的な「対比」の用い方について理解を深め、「対比」を上手に使うことで自分の主張に説得力を持たそうと努力をしている。

9	<p>《ウォームアップ》主張と根拠を考える 《例題》文化としての科学 ・人工の自然－科学技術時代の今を生きるために 《フォーカス》要約の方法 ↓ <u>文章の骨格をとらえ、主張をつかむ力を身に付ける。</u></p>	<p>【知識・技能】主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】文章のキーワードや主張と根拠の関係をとらえるために文章を根気強く読み、要約しようとしている。</p>
2 10	<p>小論文① ・根拠をふまえて主張を書こう ・構成を考えて書こう ・反論を想定して書こう ・文章を磨き上げよう ↓ <u>小論文の基本的な書き方を理解し、論理的な文章を書く力を身に付ける。</u></p>	<p>【知識・技能】言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にするはたらきがあることを理解している。 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】小論文の基本的な書き方を理解し、主張をより明確に伝えようと試行錯誤を重ねて書こうとしている。</p>
11 ・ 12	<p>《ウォームアップ》文章と資料を関連づけて読む ・量の時代から質の時代へ ・若者の「海外旅行離れ」は本当か？ 《フォーカス》統計資料を活用しよう ↓ <u>資料からデータを読み取り、活用する力を身に付ける。</u></p>	<p>【知識・技能】語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】統計資料の特徴をとらえ、主張が明確になるために必要な情報を模索しようと努力している。</p>
1	<p>《ウォームアップ》情報を比較・整理する 《例題》「言葉の揺れ」を認めるか ・紙の本はなくなる ・情報化と紙の本のゆくえ 《フォーカス》比べて読もう ↓ <u>文章を比べて読み、考察する力を身に付ける。</u></p>	<p>【知識・技能】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】読むことにおいて、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】異なる文章を比べて読み、自分の考えを持つことができるよう、深く考えようとしている。</p>
3 2	<p>レポートを書く ・テーマを決め、問いを立てよう ・情報を収集しよう ・情報を整理しよう ・レポートをまとめよう ↓ <u>レポートの書き方を学び、自分の考えを筋道を立てて説明する力を身に付ける。</u></p>	<p>【知識・技能】語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 情報を重要度や抽象度などによって階層化として整理する方法について理解を深め使っている。 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】説得力のあるレポートを書くために、根気強く情報を収集し、自分の考えを筋道を立てて説明しようと試行錯誤を重ねている。</p>